

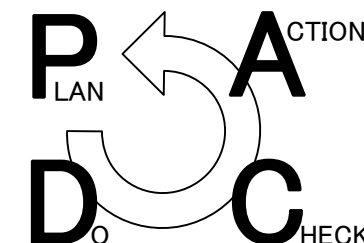
政策名	1グローバルロジスティクスの港	施策推進 責任者	企画調整室長 建設部長
基本施策名	02ロジスティクスハブ機能の強化		
個別施策名	09ロジスティクス機能を拡充する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	物流企業、荷主					
	サービスの対象物(何を)	名古屋港西部地区					
	意図(どういう状態にしたいのか)	公共用地の情報が円滑に提供され、ロジスティクス機能が集積する					
内容	名古屋港は背後圏のものづくり産業の発展や国際水平分業の進展などによって、近年、臨海部に対する物流施設立地ニーズが高まっています。このため、提供可能用地の整備を進め、公共用地の情報を円滑に提供することにより、ロジスティクス機能の集積を図っていきます。						
目標	H16からの新規企業立地面積が68ha(平成20年度値:50ha)となるようロジスティクス機能の集積を目指します。	目標達成に影響する外的要因等					
		世界の景気動向による貨物量減少					
成果指標名		単位	実績			目標	指標の説明(式)
			H19年度	H20年度	H21年度	H24年度	
企業の新規立地面積	実績目標	ha	48	50	50	68	H16年度からの新規企業の立地面積の累計
	達成率	%	70.6	73.5	73.5		
	実績目標						
	達成率						

4. ACTION(取組)

取組の方向性				
成果	拡大		○	
	維持			
	縮小			
		縮小	維持	拡大
		コスト		
判断の理由				
名古屋港が更に発展するためには、ロジスティクス機能の集積が必要であり、そのための利便性の高い土地を引き続き提供することにより、成果の拡大を図っていく必要があるため。				



3. CHECK(個別施策の実現に向けた今後の展開方向)

現状における課題認識	
<ul style="list-style-type: none"> 鍋田ふ頭貸付地ロジスティクスハブ形成事業の交渉権者が辞退したため、再公募を実施しましたが、現在までに応募者はありません。PRのためにポートセールスを広範囲に実施する必要があります。 西部木材港再編計画の策定(港湾計画の策定)は、世界同時不況により取扱貨物量の動向を見極めていたため進捗が遅れています。 	
構成事務事業の適正性 (事務事業の構成内容の妥当性)	
<ul style="list-style-type: none"> 事務事業の構成はおおむね妥当であると考えます。 	
今後の展開方向 (新規事業の創出、事務事業の見直し等)	
<ul style="list-style-type: none"> 世界同時不況の影響もあり、企業の土地需要は低下していますが、中期的には業績が回復し土地需要も高くなるものと想定されることから、西部地区の用地等整備事業や土地利用再編の検討については、引き続き進めていきます。 進出辞退のあったロジスティクス用地については、引き続き、新たな事業者の誘致に向けてポートセールスを行います。 	

2. DO(個別施策を構成する事務事業の今後の方向性)

重点化	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な成果指標 又は活動指標 (単位)	成果・事業費(千円・人件費込)				目標値 (目標年度)	21年度 末までの 状況	今後の方向性		判断の理由	
				H19年度	H20年度	H21年度	H22年度			事務事業 の 方向性	取組の方向性		
				実績		目標					成果		コスト
決算額		決算見込額		予算額									
○	西部地区への物流センターの誘致 (1020901)	コンテナ機能が集積する西部地区において、名古屋港のロジスティクス機能の強化・高度化に資する物流センターを公募します。	事業着手件数(累計)(件)	0	1	1	2	2	やや遅れ	継続	➡ ➡	具体的需要を見極めつつ、新たな事業者誘致に向けたポートセールスを行っていただくため。	
	西部木材港再編計画の策定 (港湾計画の策定)【本掲】 (1020904)	木材流通の動向ならびに、木材港及び隣接する木材団地の将来のあるべき姿を調査研究し、船舶の大型化に対応した在来バースのあり方を検討するものです。【再掲】1010401	策定進捗率(%)(上段:単年度、下段:累計)	20 20	6 26	4 30	40 70	100 (H23)	遅れ	継続	➡ ➡	物流の環境変化に対応した港湾のマスタープランである港湾計画の改訂に向けて着実に準備する必要があるため。	
	西部地区(第1貯木場)都市再開 発用地等整備事業 (1020905)	弥富ふ頭第1貯木場を埋立し、保管施設用地を整備します。 規模:面積12.8ha	事業進捗率(%)(上段:単年度、下段:累計)	3.9 82.1	3.6 85.7	2.1 87.8	7.3 95.1	100 (H23)	順調	継続	➡ ➡	具体的土地需要が未だ定まらないなかで財政状況を勘案して拙速な事業進行を避けるため。	
	西部地区(第2貯木場)都市再開 発用地等整備事業 (1020906)	飛島ふ頭第2貯木場を埋立し、保管施設用地を整備します。 規模:面積13.9ha	事業進捗率(%)(上段:単年度、下段:累計)	2.3 27.7	3.6 31.3	2.8 34.1	0.7 34.8	100 (H24)	順調	継続	➡ ➡	具体的土地需要が未だ定まらないなかで状況を勘案して事業進行をすすめていくため。	
	西部地区(第1・2貯木場)埋立 地の売却(準備) (1020907)	第1・2貯木場の埋立地について、用地整備完了後、適切かつ速やかな処分手続きのための準備を行います。	準備作業進捗率(%)(上段:単年度、下段:累計)	0	10 10	0 10	0 10	100 (H24)	順調	継続	➡ ➡	具体的需要を見極めて拙速な事業進行にならないようにするため。	
施策コスト (事業費合計)				294,474	372,776	257,063	368,255						

注) 事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。

注) 目標値欄の「継続事業」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則としてH24年度の間目標として設定しています。